



まちの魅力発信!

協会 ニュース

広報誌 昭島観光まちづくり協会

2025年4月
第48号

特集 「あきしま町あるき」はどうやって運営しているのか?

毎回、多数の方に楽しんでいただいている「あきしま町あるき」。今号では、計画から実施までご協力いただいているボランティアガイド「町あるきナビゲーター」の皆さんの活動をご紹介します!



主な記事

- 第2面 2025年あきしま郷土芸能まつり開催予告 ロケーションサービス事業報告ほか
- 第3~5面 2024年12月~2025年3月までの事業報告
- 第6面 2025年4月以降の協会主催イベント予定情報

第十五回 あきしま郷土芸能まつりを開催します

「あきしま郷土芸能まつり」は、昭島の各地域で受け継がれてきた伝統芸能を広く紹介することにより、市内外を問わず多くの方々に昭島の良さを実感していただくことを目指して開催されます。

伝統芸能の継承の心を育むため、子どもたちが楽しめる体験イベントなども実施します。

日 程: 令和7年5月25日(日) 10時～15時
場 所: JR昭島駅北口モリタウン北側特設会場



ロケの街 昭島へ！ ロケーションサービス事業

「ロケの街 昭島を盛り上げ隊2025を開催しました！」

2月14日(金)～24日(月)の期間、モリタウン1Fにおいて、市内で行われた撮影風景のパネル展を開催し、さらに18日と24日の2日間は、市民サポーター(ボランティア・エキストラ)登録会を開催し新たに60名の方に市民サポーターとして登録いただきました。



市民サポーターがエキストラ撮影に参加しました！

日本テレビのバラエティ番組「THE突破ファイル(1月30日放送)」の収録を市民会館公園、エコパーク、日本料理 昭和の森車屋さんなどで行い、市民サポーター34名の方にエキストラとして参加していただきました。内容は、ムクドリの被害に悩む住民と「突破市役所なんでもスグやる課」の職員の奮闘劇です。当日は、市内5カ所でのロケを1日で終わらせるというかつてないハードスケジュールであり、市民サポーターの方も各所で色々な役を熱演しました。



観光案内所 岩泉フェアを開催しました

昭島市の友好都市「岩手県岩泉町」の人気商品を多数取り寄せて販売する「岩泉フェア」を3月4日(火)～3月30日(日)に開催しました。岩手県産の小麦粉を使ったかりんどうや龍泉洞の水から作ったコーヒー、三陸の海産物などを販売しました。



クリケット普及支援事業

「クリケットのまち昭島」サポータークラブ会長交代、新体制へ

2月25日(火)にサポータークラブの総会が行われ、2025年度の新体制がスタートしました。新会長に岡野景子氏が就任し、創立時から会長を務めた中野益美氏は特別顧問に就任しました。2025年もクリケットで昭島を盛り上げるため、子ども向けの体験プログラム(プラスシリーズ)や市長杯が行われる予定です。



2024年度プロボノ人材活用 「水のまち:昭島」ブランディングプロジェクト始動！

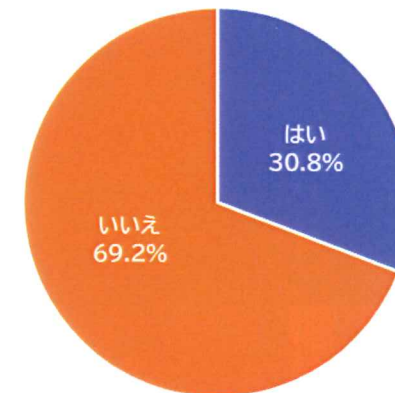
プロボノとは職業上のスキルや経験を活かしたボランティア活動のこと。近年働き方が多様化する中で、課題を抱えた地域や現場へのプロボノ参画希望が増加しています。当会では2023年度に引き続き東京観光財団の事業を利用して、プロボノ人材の方々と「昭島×水」の認知を広めるためのブランディングプロジェクトに取り組みました。

8月19日(月)～2月22日(土)の活動期間中は計23回の早朝ミーティングを行い、観光案内所の来所者へのアンケートを2回実施して集計と分析を行い、「水のまち:昭島」のブランディング構築を行いました。

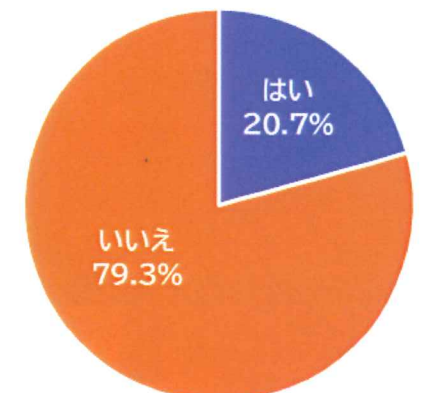
1. 観光案内所の来所者にアンケート！

はじめに現状を把握するため、マンホールカード配付者(期間:9/3～10/31)とJR東日本「駅からハイキング」参加者(期間:11/8～12/1)にアンケートを行いあきしまの水、給水スポットの認知度を調査しました。

①「昭島は東京都内唯一、深層地下水100%。水道の蛇口から美味しく水が飲めます。」以前からご存知でしたか？

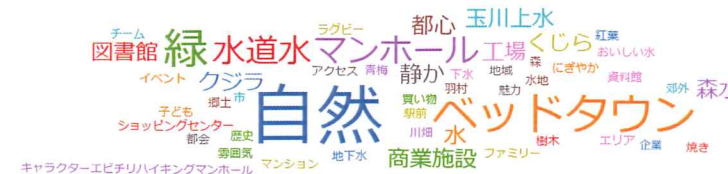


②「市内にこの深層地下水100%を自由に無料で飲める給水スポットがあります。」以前からご存知でしたか？



2. アンケートの結果を分析…昭島のイメージは？

市外の方が持つ昭島のイメージを可視化してみると…



アンケートの結果から見えてきたのは、昭島市＝『水のまち』としての認知度が低く水のイメージを持たれていないということでした。プロボノ人材の方たちとどのように「みずまち:昭島」を浸透させるか、ブランドコンセプトと展開例が話し合われました。

3. ロゴデザインが完成！商標登録を出願中！！

昭島市の固有価値である深層地下水100%の「あきしまの水」を広く発信することで、まちのブランディングを図り、昭島についてよりいっそうの興味・関心を持っていただき、訪問のきっかけづくりとするために…

コミュニケーション視点をもった「みずまち あきしま」を旗印として、ロゴデザインを作成しました。

商標登録も出願中で、今年度は具体的なプロモーションを行っていく予定です。

みずまち
あきしま

深層地下水100%と、いきる

2024年度のプロボノ人材の方をご紹介します



はたさん
フリーランス
ブランディングディレクター



かがちゃん
エンジニアリング会社



さちさん
デジタル広告会社



最終報告会

2025年2月で当初の契約期間は終了したプロボノ活動ですが、現在も要所要所でサポートやアドバイスをいただいています。

東京観光財団の事業活用について

2月6日(木) 1.大学との協働(協働型課題解決ワークショップ)最終報告会

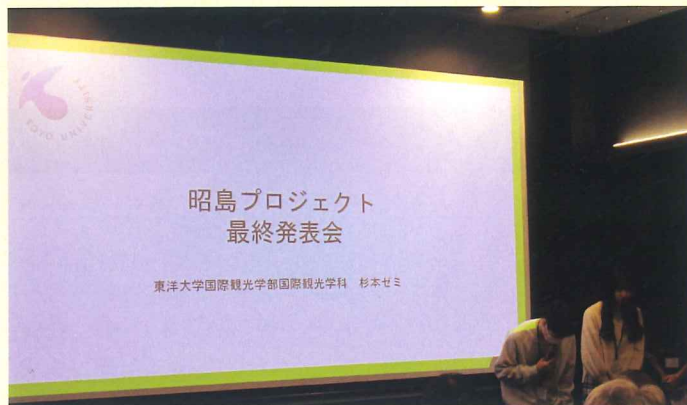
昨年8月から半年間、東洋大学国際観光学部杉本ゼミ、立教大学法学部薬師丸ゼミとワークショップを実施し、第5回、第6回の会員交流会においては両大学の中間発表の場を設け、グループディスカッションで会員様と意見交換をしていただきました。アキシマエシスシアタールームで開催した最終報告会は、東洋大学、立教大学の学生のほか会員様や関係者を含めて60名の方にご参加いただきました。

各大学の発表内容

【東洋大学】

テーマ: 昭島の認知度向上

取組: SNS班、動画班、AI班に分かれて、SNSのアカウント運営や動画作成に取り組み、昭島の魅力を可視化



※東洋大学が作成した動画は、当会ホームページの「特集」よりご覧いただけます。

【立教大学】

テーマ: 「あきしまの水×食」を活かしたブランディング構築

取組: 大人カフェ巡りマップ・蕎麦マップの作成、まちバルの提案

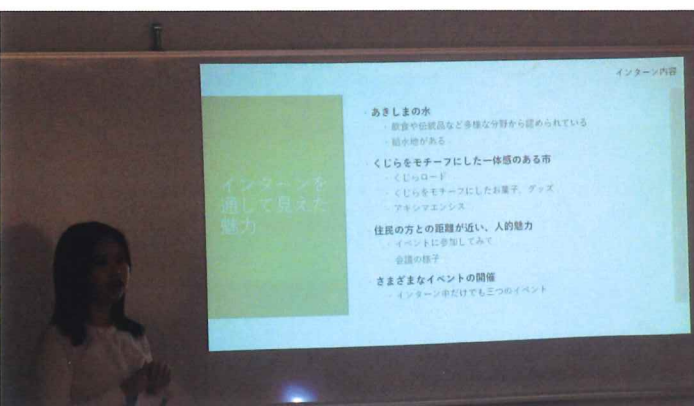


各大学の発表が終わった後は、参加者がグループに分かれて交流し、今後発信したい昭島の魅力について活発な意見交換が行われました。



2月17日(月)～3月6日(木) 2. 学生インターンシップ受け入れ

東京観光財団を通じて学生インターンシップの受け入れを行いました。今回は、津田塾大学学芸学部3年の大学生が派遣され、町あるきの同行、藍染体験ワークショップの当日運営やロケーションサービスのイベントなどを体験してもらいました。また、SNSによる情報発信では、実際に体験した藍染ワークショップと町あるきについての記事を書いてもらいました。最終日のプレゼンでは、「あきしまの水応援団」や「あきしまwelcomeカード」など、昭島の認知度を上げるための企画を提案してくれました。



2024年12月～2025年3月の主な事業報告

町あるき各回の詳細は、昭島観光まちづくり協会ホームページ「あきしま町あるき」活動報告をご覧ください



町あるき事業

昭島の地域活性化を目的に、会員事業者や関連団体と連携しながら、昭島の魅力を発信するイベントの主催、協力などの活動を行なっています。

12月11日(水) 第111回町あるき

農ウォーク「地元産を食べよう! 美味しい鍋の具材探し」

地元で採れた拝島ねぎ・大根・卵・米・餃子の鍋セットをお土産にして昭島産食材を楽しんでもらい、市内の農業に触れる趣旨で開催しました。今回は収穫体験を含む3カ所の畑を訪問。道中は、町あるきナビゲーターが、昔からの集落に縁のある神社や農産物の畑なども紹介して地域と農業の関わりについて説明しました。また、拝島ねぎ保存会オリジナルのエコバッグの販売や、焼いた拝島ねぎの試食会など江戸東京野菜をPRしました。参加者からは、「今晚のごはんが楽しみ」「種まきから成育過程のお話が興味深かった」などの声が寄せられました。



1月21日(火) 第112回町あるき

企業訪問

～フランスベッドとシマダヤ関東を訪ねる～

中神駅北側にある、フランスベッド(株)東京工場、シマダヤ関東(株)東京工場を訪ね、中神引込線跡を歩きました。フランスベッド様では、一般の方の工場見学の受け入れに、初めてご協力いただき、マットレスの製造工程など、貴重な作業を見学しました。シマダヤ様では、うどん・そば等の試食をご提供いただきました。また、中神引込線跡では、地域の歴史や、街並み形成について紹介。地元企業や周辺の地域がより身近になった町あるきでした。



2月26日(水) 第113回町あるき

八清住宅と中神引込線 ～昭和初期の面影を巡る～

戦後の町づくりに大きな影響を与えた旧陸軍航空工廠、そこに働く人々の暮らしを支えた東中神駅周辺の街並みについて学び、当時の面影を探して歩きました。また、工廠に接続する引込線跡地で、現存する線路や転轍機を見学し、周辺にあった工廠の技術者や工員の方たちの住居として栄えた周辺の街、娯楽や商業の中心となった八清住宅やロータリー周辺、昭和公園等を訪ね、八清の由来や、当時の暮らしに思いを馳せた町あるきでした。



町あるきナビゲーターの会にご興味ある方はお気軽に事務局までお声掛けください!

各種イベントや事業の報告

2月22日(土) ワークショップ 藍染体験

昭島の水と天然の藍でつくるオリジナルハンカチ

「あきしまの水」を使って、「本藍染め」を体験し昭島の水の豊かさと藍染の伝統技法を学ぶワークショップです。今回は午前・午後に分かれ各7名、合計14名の方が藍染に挑戦しました。講師の形山先生に何種類か絞り(模様の付け方)を教えていただきましたが、実際に体験してみると想像力を超えて絞っていくのは非常に難しくも楽しい作業だったようです。参加者からは、「染めていく過程で色の変化がみられて面白い!」「希少価値の高い技法を守り続けていて応援したくなりました」「藍を子どもの様に大切にしている事がとても感じられました」などの声が寄せられました。きれいに染められた「世界に1点もの」のハンカチに皆様大満足の様子でした。



場所: 藍染工房瑠璃玉

出張授業や職場体験の受け入れを行いました

瑞雲中学校2年生職場体験 2月5日(水)～7日(金)
拜島第二小学校3年生総合学習への出張授業 2月7日(金)
田中小学校6年生職場体験 2月13日(木)

職場体験では、町あるきへの同行や観光案内所での接客や販売と3月に実施する「岩泉フェア」のポスター作成などを体験してもらいました。また、出張授業では、「昭島市の伝統芸能」というテーマで、昭島市郷土芸能協会の上岡健人会長にご協力いただき、共同であきしま郷土芸能まつりの紹介などを行いました。



瑞雲中生徒が作ったPOP

拜島第二小学校での出張授業

2月20日(木) つつじが丘北自治会主催 交流フォーラムで講演を行いました

つつじが丘北自治会より、昭島観光まちづくり協会の活動について講演依頼があり、昭島の魅力を発信する協会の事業や、地域・産業・人をつなぐ「あきしま町あるき」などの紹介を行いました。町あるきについては、あきしま町あるきナビゲーター 古川年彦副代表から、活動を始めた理由や市内のお気に入りのコースやポイント、次回町あるきの予告などのお話をしてもらいました。

場所: つつじが丘団地16号棟 第2集会所



第115回 あきしま町あるき

「町あるきナビゲーターおすすめ！
昭島のパワースポットめぐり
～福島・郷地地区～」

福島、郷地地区を中心に歩き、市の文化財など地域の歴史やゆかりある場所を案内します。

開催日：4月24日(木)
※申込は締め切りました



第116回 あきしま町あるき

「廃線を歩く 旧五日市鉄道
拝島駅から立川駅を結ぶ2日間」

開業100年を迎えるJR五日市線にかつて存在した、立川まで続く線路跡を2回に渡って歩きます。

開催日：5月9日(金)、
5月16日(金)全2回



第117回 あきしま町あるき

「あきしまの水」を学んで味わうコース(仮)

開催日：6月予定

あきしま町あるき特別編

開催日：6月23日(月)

「一緒にナビを始めませんか？」

ミニ町あるきをしながら町あるきナビゲーターの活動を紹介します。

以降も企業訪問、地域・歴史、コラボ企画、
農ウオークなど実施予定です。

第16回 定期社員総会を開催します

皆さまのご支援とご協力をいただき、弊会は設立より満14年を迎えました。第16回定期総会では、令和6年度事業報告と次年度に向けた事業計画及び予算についてご審議をいただきます。会員の皆さまの忌憚ないご意見を賜り「水と緑が育む ふるさと昭島・多様性と意外性のある楽しいまち」の実現に向け、誇りと愛着を持てるまちづくりを目指すための基盤とします。

社員(会員)の皆さまには6月中旬に総会のご案内を送付いたします。

日程：7月10日(木) 15時～
場所：環境コミュニケーションセンター
2F 見学者説明室



2024年度新規会員のご紹介 (法人・団体事業者様)

- ・きっちん むう
- ・(株)丸福商事
- ・拝島駅前商店会
- ・(医) 野村会

※会員情報は昭島観光まちづくり協会ホームページに掲載しています

会員募集中

昭島観光まちづくり協会では
随時会員を募集しています。

正会員・賛助会員、法人・個人は問いません。
詳しくは協会事務局までお気軽にご連絡ください。

※各イベントは詳細が決まり次第、市広報や当会 HP にてご案内します。
また、予定は予告なく変更となる場合がありますのでご了承願います。

編集後記

桜の開花というと満開のソメイヨシノのイメージが強いですが、大木となった並木に一齐に花開くところが春を待ちわびた気持ちに通じるのでしょう。一方で、ソメイヨシノも樹齢や生育環境から更新時期を迎えているものも増えてきています。古い木を更新した場所の新しい桜には、「あきしまさくら」と表示のある木も見かけますね。「あきしまさくら」とは、固有の品種名ではなく、「新しく桜の木を植えるときの将来を見据えた取組みのこと」です。具体的には、①植える場所に合わせた品種を選ぶ(大木になりすぎない、枝を張りすぎない等)②苗木の生産に昭島市内の休耕農地を活用する③計画的に古い木や傷んだ木から順に更新することです。キーワードは、世代交代、地産地消、適種適所。新年度にふさわしいですね。



職員一同、会員の皆様方の **ご意見・ご感想** を心よりお待ちしております。

2026年 第3回 みんなで作ろう!あきしまカレンダー/ カレンダー 写真大募集!



テーマ「あきしま大好き」

2026年のカレンダー制作に向けて、とっておきの「あきしま大好き」写真を募集中です。応募点数に制限はありませんのでどんどん送ってください!カレンダーに採用された入選者にはQUOカード3000円分+市内企業製品や市内店舗のチケットなど豪華特典を進呈します。

締切:6月30日まで

募集要項、応募は
こちらから➡



一般社団法人 昭島観光まちづくり協会

事務局 長：堀井真理子
観光案内所 長：堀井真理子
事務所 職員：大竹美幸 古田久英
事務所 臨時職員：井上敏明 岡本督 鈴木百合子
観光案内所：大信真由美 向坊ミヤ子 高橋君子 志茂真弓
駐在 職員：デイ・ナイト(株)「昭島ロケーションサービス」
堤 千春 結城 佳祐
(一社)日本クリケット協会 李 緑 國井俊彦
昭島観光案内所：(昭島駅北口西側階段下) TEL:042-519-2331
営業時間：平日 4月～9月 AM9:00～PM6:00
10月～3月 AM9:00～PM5:00
土日祝(通年) AM9:00～PM5:00
定休日：月曜日(祝日の時は翌日)/年末年始
発行：一般社団法人 昭島観光まちづくり協会
所在地：〒196-0005 東京都昭島市代官山2-9-2
昭島昭和第一ビル202-A
TEL:042-519-2114
FAX:042-519-2144
URL:https://www.akishima-kanko.org/
発行日：2025年4月15日
印刷：ジャパンプリント株式会社